

2024年10月7日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 株式会社TMEICと「ESG経営支援私募債」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまのESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートするESG評価型社債商品である「ESG経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品のESG評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURCがESGに関する独自のチェック項目に基づき、お客様のESGに対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

この度、株式会社TMEIC（代表取締役社長 川口 章）は、本商品を発行いたしました。また、MUFG ESG評価において、「特に進んでいる」との評価であるAランクを取得しました。

### 【高く評価を受けたESGに関する取り組み】

#### ✓ ESG（サステナビリティ）全体

企業理念に「グローバル社会の持続的な発展に貢献する」ことを掲げ、トップマネジメント自らのコミットメントを公表し、専用ウェブページやサステナビリティレポートを通じESG・サステナビリティに関する情報を幅広く提供しています。

#### ✓ 環境（E）

「環境基本方針」にて事業活動での環境負荷低減と、環境調和型の製品・システムの提供により、社会の持続的な発展に貢献することを定めています。

特に、気候変動に関しては、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた中期目標として、2030年の温暖化ガス削減目標を設定し、SBTi（Science Based Targets initiative）からの認定を取得しています。また主力製品のモータやパワーエレ製品は、社会全体のエネルギー効率向上や再生エネルギー拡大に大きく貢献しています。

#### ✓ 社会（S）

2023年3月には「TMEICグループ人権方針」を当社と各子会社で採択し従業員を含むあらゆるステークホルダーの人権尊重に向けた取り組みを推進しています。

また、多様なバックグラウンドを持った従業員それぞれがイノベーションを創出し企業の成長につなげるダイバーシティ推進活動を進めており、各種の人財関連データを公表しています。

#### ✓ ガバナンス（G）

コーポレートガバナンスの強化を目指し2017年度より執行役員制を導入し、経営の監督に重きを置く取締役会と、取締役会の意思決定に従って業務執行を行う執行役員会とを分離しています。

また、全社リスク管理責任者（CRO）主導のもと、全社および各拠点でリスク管理委員会を開催し、リスク情報の共有・評価を行っています。また、行動指針を全従業員に周知し利益相反や腐敗の防止といったコンプライアンス遵守を徹底するとともに、内部通報制度「リスク相談ホットライン」を設置し、全社に周知しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上